

勝連城跡 周辺整備

勝連にたたずむ悠久の城跡

うるま市の東海岸から太平洋に突き出す勝連半島の丘の上にたたずむ『勝連城跡』。
2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録され、毎年、多くの観光客が訪れる、県内でも有数の観光スポットとなっています。
海外との交易により勝連に繁栄をもたらした、勝連城跡最後の按司（城主）である阿麻和利の歴史は今も語り継がれています。
うるま市では、観光・歴史文化など多くの可能性を秘めた勝連城跡の利活用を進め、文化と観光の振興を図り、地域の活性化を促進することを目的に「勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業」に取り組み、2021年度より段階的に施設をオープンさせます。
勝連城跡の魅力さをさらに高め、沖縄本島東海岸における新たな観光拠点を目指します。

「まだ知らない 肝高に 出会う」

楽しい施設あれこれ

ショップ・レストラン



うるま市でとれた特産品を使った料理を食べたり、お土産を買うことができます。ここにしかないものもあるかもね。

イベント空間



地域のイベントだけでなく、県外・海外からの集客が見込まれる多様なイベントを開催します。

企画展示室

常設展示では紹介できない情報、世界遺産・勝連城跡や琉球中世史、勝連城跡に関する写真、絵画など、好奇心をくすぐられる企画展を開催します。

常設展示室

文化財、写真、映像などを展示して、勝連城跡について楽しみながら学ぶことができる空間をつくります。勝連城跡への理解を深めるとともに、登城前のわくわく感を高めます。

感じる

勝連城跡からの出土品などが展示された施設や、阿麻和利の物語をモチーフとしたエンターテインメント性の高いイベントなどをととして、世界遺産勝連城跡の歴史・文化について、学び・感じることができます。

楽しむ

世界遺産である勝連城跡を、うるま市を代表する観光拠点として整備・活用する必要があります。勝連城跡で開催されるイベントや祭りなどを通して、地域の活性化を生み出します。また、地域住民が歴史ガイドなどとして参加することで、来訪者との交流の場が生まれる新たな観光モデルを創っていきます。

生み出す

ライブシアター

阿麻和利の物語を躍動感ある演技で伝えるパフォーマンスガイドを配置することで、全国初となる臨場感あふれる体験型ガイダンスを行います。

世界遺産

勝連城跡

勝連城跡最後の按司：阿麻和利とは？

阿麻和利は、当時、悪政に苦しんでいた民衆と相談し、当時の按司（城主）・茂知附を倒し、按司となり、活発な交易により勝連地域にかつてない繁栄をもたらします。

阿麻和利の勢力に脅威を感じた琉球国王は、重臣・護佐丸を中城城に住まわせ、阿麻和利をけん制するとともに、娘の「百度踏揚」を嫁がせました。

天下統一を目指した阿麻和利は、護佐丸を倒し、琉球王府打倒へと動き出しましたが、大城賢雄率いる王府軍の反撃にあい滅ぼされてしまいました。

多くの歴史書では、阿麻和利は琉球王府に歯向かった悪者として扱われていますが、その後の研究によって名君であったと称えられていたことがわかっています。

また、王府が編纂した歌集「おもろさうし」のなかでは、阿麻和利のことが肝高（気高い）と表現されています。

